

知識は人生を豊かにする



はじめまして、4月から高殿教室で個別指導を担当している平島義久です。突然ですが皆さんは、勉強は好きですか？おそらく勉強が好きだと即答できる人は少ないのではないのでしょうか。僕もその一人です。高校時代は勉強も難しくなってきたり、覚えることも多くなり、とても苦労しました。受験のためだけに勉強することに疑問を持った時期もありました。しかし最近少しずつ考え方が変わってきたと思います。

先日、ゴールデンウィークに家族で、京セラ美術館のポンペイ展を見に行きました。

ポンペイとはイタリアの都市で、AD79年のヴェスヴィオの大噴火で火砕流によって地中に埋もれたことで知られています。火砕流によって地中に埋もれたことにより、2000年前の賑わっていた都市を当時の姿に近い形で見る事ができます。

僕は受験期に古代ローマについて歴史や文化、建築を学びましたが教科書だけの学習ということもあり、当時はあまり興味を持ってませんでした。

しかし今回は、充実した展示物を間近に見ることにより、純粋にもっと知りたいという興味が湧いてきました。特にポンペイの富豪の家にあったアレクサンドロス大王というマケドニアの王とアケメネス朝ペルシャの王大ダレイオス3世が戦ったイッソスの戦いを描いたモザイク画は迫力があり、時間を忘れるくらいモザイク画に見入ってしまいました。ポンペイ展を訪れたとき、もし世界史に関する知識が何もなかったら僕はそれほどまでに心を引き付けられることもなかったと思います。他にも多数の展示物があり、もっと世界史の知識があればより楽しめたはずであり、その点は少し残念に思いました。

このことから知識は人の人生を豊かにするものであり、いくつになっても勉強はし続けなくてはいけないと感じました。

今回のポンペイ展の来場者には、小さな子供

達や学生が多数見受けられ、熱心に展示物や解説を見て回っていることに非常に驚きました。彼らは、明らかに予備知識が豊富で「より深く知りたい」という目的意識を持って、今回のポンペイ展を見に来ているように見えました。

彼らと過去の僕の違いは一体何なのだろうかかと考えてみたところ、その差はおそらく「より深く知りたい」という探求心の差だと感じました。学校や塾で学んだことをもっと知りたいと思えるかどうか。

そこに大きな差が生まれるとすれば、指導者からの影響は大きく、これから自分が取り組む仕事の重要性を痛感しました。

まだまだ指導面においては未熟ですが、生徒の皆さんが塾での学習を入口として様々なことに興味を持ってもらえるように指導していければと思いますので宜しくお願いします。

興味のある方は、ポンペイ展にも是非行ってみてください！

を受けている場面には感激しました。心の中で「カイチってすげえ！」と絶叫です。蒔田先生は個別指導と生徒面談を担当し、生徒達に親近感を与える雰囲気と言うべきことはしっかり伝える厳しさを兼ね備えた先生に成長しています。

1年後、私を待っていたのは「思っていたのとは違ういいもの」でした。

約30年前、私も大学生の時、高校受験の塾で働かせていただいていた。いい思いも辛い思いもたくさん経験しましたが、トータルで素晴らしい経験を積めたと感じたからこそ、この仕事を好きになり、長い間続けることができています。同じように、この仕事を選んでくれた大学生達にはもれなく「やって良かった！」と思って社会に出てほしいと強く願っています。

これが私からのこの仕事への恩返し。



福井のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE 福井 幸司 (カイチ予備校)

この仕事への感謝を込めて

カイチは卒塾生が大学生になり、スタッフとして帰ってきてくれる塾です。

私にとっての記念すべき第1号は、今も予備校で活躍の中場先生です。当時は予備校ができて間もない頃で、関目教室の卒塾生が3年ぶりに帰ってきてくれた形でした。本当に嬉しかったです。一緒に教え方や生徒達のことを話し合うのは新鮮な体験でした。ただ、どうしても「ものが言いやすい」ため、辛い思いもさせただろうと感じているところもあります。それでも順調に成長し、教え方の相談に来るときも私より分かりやすいアイデアを何度も出してきました。良い先生になってくれました。

ちなみに私から見「生徒時代」がなかったスタッフもいます。実感として言えることは「とても働きやすい」です。彼らの質の良さもありますが、一から関係性が築けるという点が、私にはプラスに作用しています。元生徒なら少なからず持っているであろう何らかのイメージと戦わずに済みますから。

そして次に新しい背景をもつスタッフが現れました。それは「カイチ予備校の卒塾生」です。中3で一度関係が終了し、3年ぶりに戻ってきたのではなく、つい10日ほど前まで合格発表を待つ

いた生徒。その中でも中3、高3と二度の受験をともにしたのが、伊東先生と蒔田先生。これはマジで嬉しいだろうなと思いました。

ところが「思っていたようないいもの」ではなかった、というのが正直な感想です。3年間の空白がないためか、私の頭の中で「生徒→スタッフ」への移行がスムーズにいかず、本当に何と表現したら良いのか分からないのですが、しんどかった。原因は分かりません。

しかし、じわじわとスタッフへと成長する姿を見るのは格別の喜びでした。

私と同じ数学のクラス指導講師となった伊東先生と、初めて隣り合わせの教室で同時に授業をしたときは感動しました。もう自分にはできないような、声に力のあるパワフルな授業が、壁越しに伝わってくるからでした。今ではクラス運営について「先生らしい」悩みも持ち始め、彼と講師と講師の関係で話し合えるのが楽しみの一つです。伊東先生だけでなく数学チームの学生講師達は、今や私にとってライバル。大人げなく彼らから貪欲に学んでいます。

また、中1から6年間指導してきたある生徒の、生物の質問対応を1年間頑張ってくれた蒔田先生が、彼から第一志望校合格のお礼のあいさつ



June 2022 Vol. 117 毎月10日発行

【本部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【曙口教室】 鶴見区曙口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467
【高殿教室】 城東区成育 5-22-10-2F TEL.06-6786-1008	【カイチ予備校】 城東区今福西 1-10-17 TEL.06-6935-2220
【エニグマ】 中央区谷町 9-4-5-3F TEL.06-6777-1563	【万緑会】 天王寺区上本町 6-9-10-3F TEL.06-6772-5011



高木 秀章 (塾長)

実は影でこんなこともやってます。

事業計画発表会のようす

去る6月5日にカイチの事業計画発表会をしました。「事業計画発表会?何それ?」と思われると思いますが、毎年6月に実施される、開智総合学院がどんな塾を目指して、各社員の先生方が1年間どんな風に仕事を進めていくかを発表する場です。



▲事業計画発表会の様子。若手社員の岩崎先生。「今年は数学主任の座を奪う」という斬新なスピーチでした。

カイチではこんなことをやってみたいという人がいると、その人がプロジェクトリーダーになってどんどん新しい仕事を作っていきます。今年関目教室で新しく始まった「かいち学童」も、多くの社員の先生達に子供が生まれ、こんな学童があったらいいなという話からスタートしました。そこから、マナロ先生やルイーダ先生、関目の小幡先生達がどんなアイデアを出して形にしていきました。

カイチ個別をすべて取り仕切っているのは、まだ20代の井上先生です。また、優秀なカイチの卒業生の講師陣ならば、きっと素晴らしい個別指導を作れるだろうという考えのもと、井上先生は、若者ならではの感性で、先生達が指導で困るポイントを動画にまとめユーチューブにアップしていきました。そんな努力が実を結んで昨年度は実績を大きく伸ばしました。

みんながよく知っている先生達には、カイチを支えるプロジェクトリーダーという別の顔があって、毎日、みんなの成績を伸ばしたり、働く先生達をサポートできるようなアイデアや仕組みを作っています。



▲税理士の先生が、なぜかカトリーナ先生に英語で早口言葉を言われる場面も…。

事業計画発表会では、昨年度の振り返りと今年度の指導や自分のプロジェクトをこんな風に行きたいという内容を発表します。すごいのは、ほぼすべての先生達が、毎年、各自の目標をきちんと達成し、自分がすべきことを1年後には形にしていることです。先生達は、生徒のみんなにテストの度に「目標は何点や! そのための計画を立てろ! その計画をしっかり守れ!」とガミガミ言っていますが、先生達は生徒のみんなに話しながら、自分も頑張ろうと日々考えているのだと思います。

目標を持ち、計画を立て、自分を律して実行することは、大人になって仕事を進める上でもとても大切なことです。皆さんが、日々、勉強を頑張るこ

とは社会に出て生きていく力を鍛えていることに確実になっています。

事業計画発表のために、先生達が私に送ってきたプレゼン資料は約400枚。すごい量です。その資料には、きちんと先生達の思いが詰まっています。「生徒達をもっと伸ばしたい」「もっと保護者に喜んでもらいたい」「快適な職場環境を作りたい」中には、途方もない目標を書いている強者の先生もいます。でも、どれも夢があって素敵です。

生徒を成長させようとして指導している先生が実は生徒以上に成長できる。そんな先生を成長させようとして、指導する先生はもっともっと成長できる。カイチはみんなで育て合う、成長が循環する塾や職場でありたいと願っています。

この事業計画発表の最後には、この日のプレゼン内容が一番素晴らしい人に贈られるプレゼン大賞と、昨年1年間最も活躍したと思われる人にみんなが投票して決定するカイチ・オブ・ザ・イヤーが発表されます。



▲プレゼン大賞は関目教室の井上先生。満面の笑みです!

プレゼン大賞は、話し方の面白さで関目教室の井上先生が受賞しました。そして、栄えあるカイチ・オブ・ザ・イヤーはカイチ予備校の熊谷真宏先生が受賞しました。熊谷先生は昨年、高1生が集まらず苦戦する中、非常勤の先生達と協力して、大学生活や受験勉強について気軽に話し合う「座談会」の実施

係をより深めるためのチューター制度、生徒のモチベーションアップのための掲示物の工夫、インスタグラムのルール機能を使い外部の方々へ予備校の良さを伝えるなど様々な工夫を行ってきました。その結果、今年度は塾生が100名突破。その取り組みと姿勢が先生達に評価されました。私も応援していたので熊谷先生の受賞が決まった時には、やはりみんなも熊谷先生を見てんだ!と感動しました。



▲カイチ・オブ・ザ・イヤー受賞スピーチをする熊谷真宏先生。

私は「知識」を生徒達に与える先生だからこそ、仕事を通じて知識を社会で活用する「実学」を身に付けて欲しいと考えています。知っているだけ、知ってつもりではだめ。やってみた上で、考えて工夫する。そういう「知識」をリアルに活かして生きている先生達が、教壇に立ち、子供達に「知識」の習得を通じて、生きる力となる「努力や工夫を続ける姿勢」を教える。それはとても素敵な仕事だと思います。

今年もみんなで掲げた事業計画を胸に、頑張っていきたいと思っています。まだまだできていないことばかりですが、努力を重ねたいと思います。

Focus

CLASSROOM REPORT 教室レポート



GROWING 高殿教室3年目スタート!!

岡本 泰行 (高殿教室)

ジメジメとした日が続く、梅雨明けが待ち遠しい日々が続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか。

高殿教室ですが、今年で3年目です。初年度スタートからコロナによる学校休校などスタートからどうなるのかと不安でいっぱいでしたが現在は130名を超える生徒の皆様に通って頂いております。これもカイチに通って頂いている生徒の保護者の皆様・生徒の皆さんのおかげです。誠にありがとうございます。

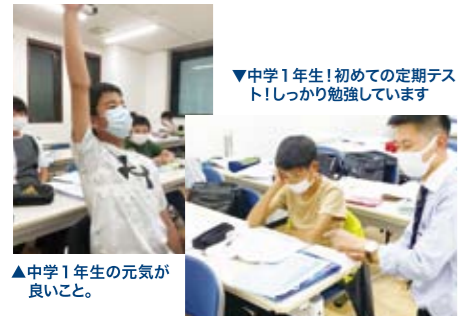
高殿教室ですが今年から岡本から近久先生に教室長が交代となり、新体制になっております(岡本も教室にいますので忘れないくださいね)。各部門の様子をお伝えします。

学習部

■ 中学部

はじめに、中学3年生!次はあなたたちの番ですよ!中学2年生のころ、教室の壁に貼ってある入試直前の大予想模試や、文理学科模試などの結果を見ながら、自分たちの先輩の名前や、同じ教室の先輩の名前を探したりしていましたね。入試まであと1年もありません。今からコツコツと頑張りましょう!

現在中学部は、新教室長の近久先生が中学1年生や新入生たちに勉強のやり方や、当たり前にしなくてはならないこと、ルールなどを徹底的に叩き込んでいる最中です。ここが肝心ですね。何事も最初の第一ボタンが大切です。これは先生達にも言えることなのですが、新しい年になりました、自分自身をもう一度見直してみる良い機会です。



▲中学1年生の元気の良いこと。

■ 小学部

私は久しぶりに小学部の授業を持つことになりました。小学部の感想として「元気が良い!!!」。

昨年までは、高殿教室は小学部の人数は多くなかったのですが、今年は今までにない勢いで増えていっています(まだ他教室に比べると少人数ですが)。小学部といえば毎月行われる診断テストが大きなイベントとしてあります。「ランキングに載る」「席替えで一番後ろの席に座る」など各々が目標を持っています。先月の高木先生の記事にもありましたが、「無駄は必要です」。いろいろな取り組み方や、時間のかけ方など試行錯誤しながら、自分の勉強の仕方を身につけていくものです。ですから、「無駄も必要です」。いろいろなことをすることで、「これは必要」「これは必要ではない」と判断できるようになります。この判断ができるようになれば、「今までの無駄が無駄ではなくなります」。ですから、小学生の皆さんは毎月のテストにしっかりと取り組み、自分自身はどういう勉強をしたら漢字や、社会が覚えられるのか。どれくらいの時間をかけたら良いのか。など試行錯誤しながら取り組んで下さい。もちろん授業では先生たちが勉強のやり方のポイントや、宿題の大切さなどいろいろ話していますので、参考にしてください。



◀元気が良い!!

キッズ部門

■ 珠算部



辻本先生も熱が入ります!!

3年目を迎えた高殿教室には40名ほどの皆さんに通って頂いております。上級(3級以上)の取

得者も現れ、ますます活気づいています。このGROWINGが皆さんの手元にわたるころにはさらに上の級の合格者が出ているかもしれません。ますます活気づいてきますね。

■ バスカルキッズ

こちらも珠算に負けず30名ほどの生徒の皆さんに通って頂いております。バスカルキッズの教室に入ることが多いのですが、「どうやって解いたの?」とこちらが驚く機会がよくあります。珠算もそうですが、子供達の能力は計り知れないですね。こちらが限界を決めるのではなく、子供達の可能性は無限であるということを常に思って指導にあたる必要があると感じさせられます。



▲バスカルキッズの最後のゲーム!山本先生も熱中!!

■ トーキングキッズ

毎週月・水と開校しているのですが、元気な声がよく聞こえてきます。トーキングキッズの教室は一番奥にあるのですが、反対側にある珠算の教室まで元気な声が聞こえてきます。トーキングキッズでは英検の取得に力をいれており、高殿教室では小学生で準2級や、2級の挑戦者が出てきております。高校受験での英検の必要性は過去にいろいろな先生がこのGROWINGで書いているので省きますが、これからの社会、英語なしでは語れませんね。



▲はい!はい!と元気よく答えてくれます。

新しい先生達も教室に来てくれています。高殿教室3年目ですが皆様、これからもよろしくお願いたします。

Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



English Should Not Only Be Learned But, Should Be Spoken

英語は学ぶだけではなく、話すべきものである

Katrina Fujikawa (Talking Kids) カトリナ・藤川(トーキングキッズ)



Among all the vital aspects we have in life, one thing that almost all of us give importance is the area of education. This is also the reason why we send our kids to school for them to have a bigger and brighter future. Here in Kaichi... this is one of our main focus and goal; for our kids to learn and be equipped with the knowledge that they need it in the real world, specifically in the field of English.

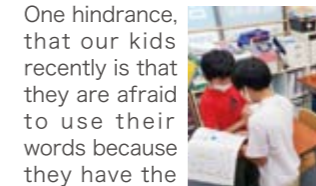


A lot of people say that English is hard and it is complicated to learn. Of course, this is subjective but, as far as universal principle is concern, the more we work hard and put effort in a certain lesson or subject, the more we can learn about it. We have a lot of ways to study or educate ourselves. We can read

books. We can research, we can ask questions, watch a tutorial, etc. Also, now that we have the internet, we can easily learn a lot of things in a short period of time. We can also learn English by doing the example stated above. However, learning should not stop only by reading books. We should not limit ourselves into one-way learning especially in learning the English



language. Have you ever heard the saying, "Experience is the best teacher?" In the same way, the more we practice speaking in English, the more we can easily learn and master the language. Instead of just reading a book and seriously studying it page by page, we must always put into practice everything we have learned by verbally saying the words and actively communicating it with others. By doing this, our kids must master a lot of courage and confidence for them to be able to speak.



One hindrance, that our kids recently is that they are afraid to use their words because they have the

実行することで英語を学ぶことができます。ですから、本を読むだけで学ぶことを終わらせてはいけません。特に英語学習においては、一方通行的な学習にとどまてはいけません。

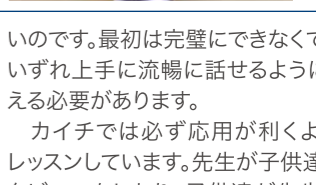
「経験は最良の教師である」という言葉をご存知ですか?英語も話す練習をすればするほど簡単に言葉を覚え、習得することができるのです。本で1ページずつ勉強するだけでなく、言葉を発し、積極的に人に伝える、このように学んだことを実践することが必要です。そうすることで、子供達はたくさんの勇気と自信を身につけ、話せるようになるのです。

最近の子供達は、間違ったことを言うと嘲笑されたり批判されたりするので、自分の言葉を使うのを怖がります。完璧にできないと恥ずかし

fear of being ridiculed and judge if they say something wrong. They are shy to express their feelings and everything that they learned because they want to say it perfectly. However, they need to understand that even though they won't get it perfectly at first, they will be good and fluent with it eventually as long as they try.

Here in Kaichi, we make sure that there is always an application in every lesson that we make. We have question/interview type of activities, we also let the kid lead the class in front and pretend to be a teacher. In this way, we can practice them on hand. As our school continues to grow, it is our big aim and goal to develop our kids in every way possible. In terms of success in English level, we are all here to support them with the best way we can.

As a conclusion, English should not only be learned but, should be spoken. All we need to do is to PRACTICE ENGLISH...



いのです。最初は完璧にできなくても努力すればいずれ上手に流暢に話せるようになることを教える必要があります。

カイチでは必ず応用が利くように工夫してレッスンしています。先生が子供達に質問やインタビューをしたり、子供達が先生になって授業をすることもあります。このような方法で実践練習ができるのです。子供達をあらゆる方法で成長させることが、私達の大きな目標でありゴールです。子供達に英語圏で活躍していただけるように、私達が全力でサポートしていきます。

結論として、英語は学ぶだけでなく、話すべきものなのです。

必要なのは、英語を実践すること……英語を話すことなのです!